

6. 多可町の寺社建築調査

橋本 唯

1. 概要

京都府立大学文学部歴史学科建築史研究室が主体となって、2022年度から兵庫県多可郡多可町の寺社建築調査を行っている。

この調査では、多可町内にある寺社の建造物（建築）のの所在・分布を把握し、さらにその建築的・地域的・時代的特性を明らかにすることを目的としている。

2. 内容

2023年度は以下の日程で調査を実施した。

日程 2023年6月9日（金）・10日（土）、9月22日（金）・23日（土）

参加者 岸泰子、松岡茉陽琉（修士前期課程1回生）

岩本悠梨（4回生）、橋本唯（3回生）

2023年内は多可町（八千代区、中区、加美区）にある寺社のうち、2022年内の悉皆調査をもとに抽出した寺社の詳細（二次）調査（調査表作成、図面作成・実測、写真撮影）を行った。2次調査により、多可町内の神社には本殿、幣殿、拝殿という形態をとるものが多いことが分かってきた。2024年は特に、中区、加美区を中心に2次調査を継続する予定である。またヒアリングも追加して行い、祭礼での建造物の使い方についても調査する予定である。



写真1 鍛冶屋 大歳金毘羅神社本殿

編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
